

2019年12月27日

種子島・ティーエムイーエス株式会社 様

2019年12月19日に依頼があった「浸透水」の計量結果（濃度計量証明書番号：濃 191227020）については、以下のとおりです。

今回の生物化学的酸素要求量（BOD）は 0.6mg/L、化学的酸素要求量（COD）は 1.6mg/L でした。

「一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令」に規定されている浸透水に係る BOD の基準値は 20mg/L 以下、COD は 40mg/L 以下で、これまでの結果同様これを下回る値です。

一般財団法人鹿児島県環境技術協会  
環境分析課 児 島



## 濃度計量証明書

種子島・ティーエムイーエス 株式会社 様

計量証明事業登録 鹿児島県登録第29号(濃度)

(事業者) 鹿児島県鹿児島市七ツ島一丁目1番地5  
一般財団法人 鹿児島県環境技術協会(事業所) 鹿児島県鹿児島市七ツ島一丁目1番地5  
一般財団法人 鹿児島県環境技術協会

環境計量士 山口 善敬



試料受付日	2019年12月19日	試料採取者	依頼者採取
採取日時	2019年12月18日 9時00分	採取時気象	曇り
採取場所・業務名	最終処分場付近		
特記事項			

ご依頼を受けました試料についての計量の結果を次のとおり証明致します。

試料名	浸透水		試料区分	地下水、湧水
計量項目	単位	計量結果	計量方法	
生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/L	0.6	JIS K0102 21	標準希釈法
化学的酸素要求量	mg/L	1.6	JIS K0102 17	酸性過マンガン酸カリウム法(100℃)
備考				

[法第十五条の二の三、法第十五条の二の四]

対象期間： 令和1年12月1日 ~ 令和1年12月31日

作成日： 令和2年1月6日

理め立てた産業廃棄物の種類及び数量 [規十二条の七の二七、規十二条の七の五、六、七]

種類	数量(単位)
廃プラスチック類	470.640 ( t /月)
金属くず	1.880 ( t /月)
ゴムくず	0.000 ( t /月)
がまくず・コンクリートくず・陶磁器くず	2.740 ( t /月)
がれき類	12.820 ( t /月)

残余容量(年度末時点) [規十二条の七の二七、規十二条の七の五、六、七]

測定年月日	令和1年12月31日
測定結果	210,387.906m <sup>3</sup>

展開検査の実施状況 [規十二条の七の二七、規十二条の七の五、六、七]

実施回数	79回
安定型産業廃棄物以外の廃棄物の付着又は混入が認められた年月日	令和 年 月 日 令和 年 月 日 令和 年 月 日 令和 年 月 日

浸透水のBOD又はCOD検査の実施状況と措置(月1回) [規十二条の七の二七、規十二条の七の五、六、七]

採取場所	安定型処分場浸出水処理施設放出口
採取年月日	令和1年12月18日
検査結果が得られた日	令和1年12月27日
BOD <sup>※1</sup>	0.6mg/l <sup>※2</sup> 未満 基準値 20mg/l <sup>※2</sup> 以下
COD <sup>※1</sup>	1.6mg/l <sup>※2</sup> 基準値 40mg/l <sup>※2</sup> 以下
異状の有無	有 ・ 無
必要な措置を講じた年月日とその内容 <sup>※2</sup>	

水質検査の実施状況と措置(年1回) [規十二条の七の二七、規十二条の七の五、六、七]

採取場所	地下水		浸透水	河川
	上	下		
採取年月日	令和 年 月 日	令和 年 月 日	処分場内排水管出口	令和 年 月 日
検査結果が得られた日	令和 年 月 日	令和 年 月 日	令和 年 月 日	令和 年 月 日
検査項目	25項目	25項目	25項目	25項目
検査結果	別紙記載の通り	別紙記載の通り	別紙記載の通り	別紙記載の通り
異状の有無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
必要な措置を講じた年月日とその内容 <sup>※2</sup>				

施設の点検(定期的) [規十二条の七の二七、規十二条の七の五、六、七]

点検年月日	擁壁等		その他( )
	擁壁	えん堤	
異状の有無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
必要な措置を講じた年月日とその内容 <sup>※2</sup>	令和1年12月31日	令和 年 月 日	令和 年 月 日

※1 いずれかを記載すること。 ※2 異状が認められた場合のみ記入すること。